



第71回 成人式

平成31年1月13日(日)、愛ホールで行われた第71回成人式に新成人33名が出席しました。

オープニングでは、開町100年を記念して作成された小清水町開町100年記念映像を上映。郷里の歩みを振り返りました。

新成人は同級生との久しぶりの再会に声を弾ませ、成人の喜びを分かち合いました。平成最後の年に、成人を迎えた皆さん、これからのご活躍を期待しています。



小清水中学生が職業インタビュー

平成31年2月6日(水)、小清水中学1年生42名が網走市を訪れ、仕事をしている人たちにインタビューをしました。

これは、総合学習の一環として行われ、網走市内の駅や警察署などを訪れ、仕事のやりがいなどの質問をし、その答えを真剣に書き留めていました。

働くことの楽しさ、素晴らしさを感じられたことは、生徒達にとって貴重な経験となりました。

小清水町女性 ドライバー集いの会

2月14日(木)、バレンタインデーのこの日、小清水町女性ドライバー集いの会が、役場小公園前の国道391号交差点付近で交通安全を呼びかけながらチョコレートや千羽鶴などをドライバーに手渡しました。

冬道はいたる所に危険がたくさん潜んでいます。気を引き締めて運転してください!

チョコで安全運転を呼びかけ



町民講演会を開催! 成年後見制度をもっと知ろう

平成30年11月28日(水)、愛ホールにて「成年後見制度」をテーマに町民講演会が開催され、24名が参加しました。

津別町社会福祉協議会事務局長の山田英孝氏を講師に迎え、成年後見制度の活用や市民後見人の活動など、具体的な事例を交えた講演がありました。

成年後見制度が必要な方は、財産管理以外にも生活面で様々な問題を抱えているケースが多く、福祉的視点支援も合わせて考えていくことの大しさや、市民後見人の専門職にはない「普通の市民感覚」が対象者から信頼され、生活に合



こんなこと困っているときは、まず『地域包括支援センター』に相談を!

役場には地域包括支援センター総合相談係が設置されており、担当職員が相談に応じています。

「近所に住む一人暮らしの高齢者の方が認知症のよつで心配…」
「介護サービスを受けたいけれど、どこに相談したらいいかわからぬ…」等、

生活の中で困っていること、悩んでいること、心配なことがあります。遠慮なく相談ください。

【お問い合わせ先】
役場地域包括支援センター
総合相談係
☎ (62) 4473

小清水高等学校閉校跡地活用基本構想 の策定状況について

【北海道小清水高等学校跡地活用検討委員会】
基本構想の策定にあたり、町民、有識者の方々から活用に関するご意見を幅広く取り入れるために設置された委員会です。

地域団体等の代表者、産業界・金融機関関係者、学識経験者、町議会議員など16名の委員で構成されています。

【お問い合わせ先】
役場産業課農業振興係
☎ (62) 4474

わせた支援が可能となることなどの詳解がありました。また、あんしん生活サポートセンターの事業では、生活困窮者、引きこもり者、障がい者への支援を地域住民と協働で行っているといったお話があり、成年後見制度の理解が深まるごとに同時に、福祉の地域づくりの実践を知る機会となりました。

構想の内容については、現在『北海道小清水高等学校跡地活用検討委員会』にじゅ審議いただいているところですが、方向性が定まりましたのでお知らせします。高校跡地については、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重点プロジェクトである『雇用の創出』を推進する産業ゾーンとして具体的に活用することになりました。具体的には、農業における労働力不足を解消する農作業支援員の安定した雇用体制づくり、障がい者の働く場づくり、農業と観光の連携による交流人口づくりなど、これら施策を実施するための機能を整備。また、小清水高校がこの地にあったといつ軌跡を残すため「メモリアル広場」を整備する予定です。最終的な基本構想がまとまりましたら、その詳細を構想図とあわせて皆さまにお知らせします。

町広報10月号で、小清水高校跡地を、「基幹産業である農業を中心とした新たな地域拠点」としての活用を検討し、その基本構想を策定していくことをお伝えしています。